

帯広市立森の里小学校 学校だより

長月の森

令和3年 9月 15日 No. 13

学校教育目標

深く考え、心豊かな、
思いやりのある たくましい子

ながつき：語源は明らかではないが、夜がようやく長くなる月の意の夜長月の略称といわれてきた

子牛ふれあいファーム

地域の人や生命とふれあう学習を通して

森の里小学校では、平成30年度から校区内の廣瀬牧場様にご協力いただき、「子牛ふれあいファーム」を行っております。今年度も9月7日（火）から10日（金）までの4日間、学校の中庭に6月21日生まれのかわいい子牛が滞在していました。

今年度も、コロナ禍により、ふれあい前の手洗いや手指消毒、ふれあうことができる学年を時間ごとに決めるなど、制限を設けながらのふれあいといたしました。いつでも、誰でもふれあえる状況ではありませんでしたが、子ども達は限られた時間の中で子牛とのふれあいを楽しんでいました。



一年生

1年生は、ふれあいだけでなく、子牛の命名や歓迎会、お別れ会の企画をしました。歓迎会では、歌のプレゼントや牛のお面をつけての歓迎など回を重ねるごとに工夫がされています。図工の時間には、子牛の写生も行いました。今年の子牛は「みるくちゃん」と名付けられ、4日間、みんなで優しく接し、かわいがりました。お別れのときのさみしげな子ども達の顔が印象的でした。



三年生

3年生は、子牛のふれあいと、子牛の寝わら敷きを行いました。人間よりも少し温かい子牛の体から生命のぬくもりを感じたようでした。

また、4日間、快適に過ごすことができるよう、みんなで力を合わせて、寝わらを敷きました。最後は、寝転がって記念撮影をしていました。



2年生もふれあいを実施



校務員さんの手作り牛小屋



1年生は手作りのお面で歓迎

動物にふれあうことは、子どもによい効果があることは多くの分野で研究されており、さまざまな効果が期待できます。

生き物が好きになるだけでなく、生命のぬくもりや命の大切さを学ぶことができます。子ども達に言葉だけで生命のぬくもりや命の大切さを伝えることは非常に難しいものです。しかし、動物と直接ふれあう体験を通して、それが可能になると考えています。

次年度以降も、廣瀬牧場様にご協力いただき、この取組を継続していく予定です。

なお、4年生については、9月以降に廣瀬牧場様で牧場の見学と体験学習を実施する予定です。5年生は、2月に酪農に携わる方からお話を聞く「キャリア教育講演会」の開催、6年生は同じく2月に洋食のシェフをお招きし、乳製品を使った「調理実習」の実施を予定しております。

児童会役員 認証式を行いました

9月3日（金）に、今年度の児童会役員の認証式を行いました。今年こそは全校児童の前で、認証状を手渡したく、実施できる時期を見計らっておりましたが、新型コロナウイルスの影響により、やむなく今年度も校長室での実施となってしまいました。

一人一人、校長先生より認証状が手渡され、学校や各委員会の代表としての責任も感じるとともに、喜びをかみしめていました。

子ども達にとって、生活しやすく、学びやすい、楽しい学校にするためには、子ども達の力（児童会の力）が必要です。それぞれが考えた公約や目標を実現できるよう、主体的で創造的な活動を期待しています。



児童会三役

児童会長 小柴美未華 さん
副会長 田中 祐良 さん
副会長 納 七海 さん
書記 但田 胡桃 さん
書記 佐藤 幸太 さん

各委員会委員長

保健委員長 斉藤つきな さん
放送委員長 林 満彦 さん
環境委員長 西山 大晴 さん
図書委員長 小笠原愛月 さん
体育委員長 奥田 杏 さん

あゆみの発行 9月30日(木)

昨年度から「あゆみ（通知表）」の様式と発行時期が変更になりました。前期のあゆみは9月30日（木）に発行予定です。

通知表は、子どもたちの学びの姿を見取り、ご家庭にお知らせするほか、子どもたちが自立して生きていくために、身につけて欲しい資質・能力の視点で学習や生活の様子をお知らせすることをねらいとしています。そのために、子ども達が自分の生活を振り返り、成長を実感するとともに、今後の学習や生活に生かすことができるよう、校内研修や日々の授業で評価方法の工夫や改善に努めております。

お子様の学習や生活で心配なことがあれば、各担任へご相談下さい。